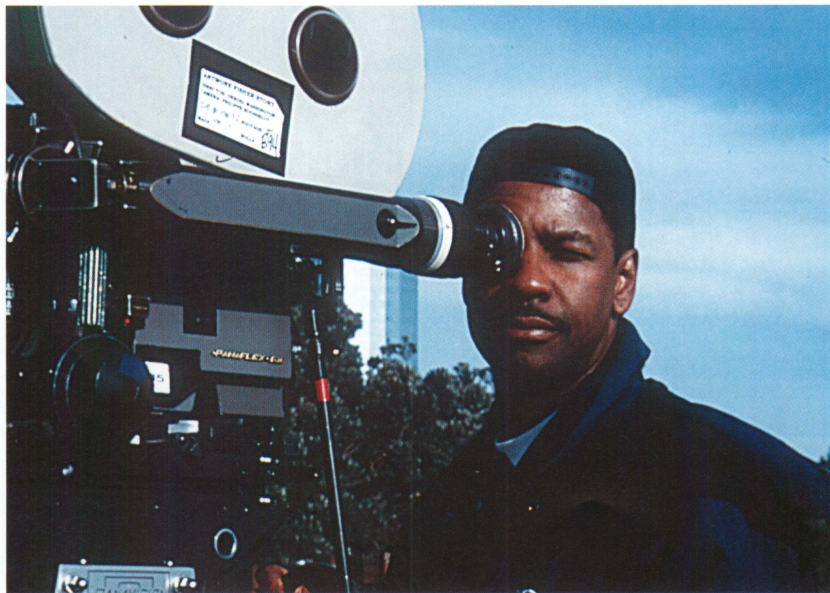


2度のアカデミー賞に輝く  
デンゼル・ワシントン初監督作品



アントワン・フィッシャー  
きみの帰る場所

INSPIRED BY A TRUE STORY

[www.foxjapan.com](http://www.foxjapan.com)



だれがその小さな男の子のために泣くというのか たった一人で途方にくれているあの子のために

自由になるために、青年は心の軌跡をたどる

子供の頃に夢に見た、

感謝祭のごちそうと家族の笑顔を求めて――

デンゼル・ワシントンがついにメガホンを取った。

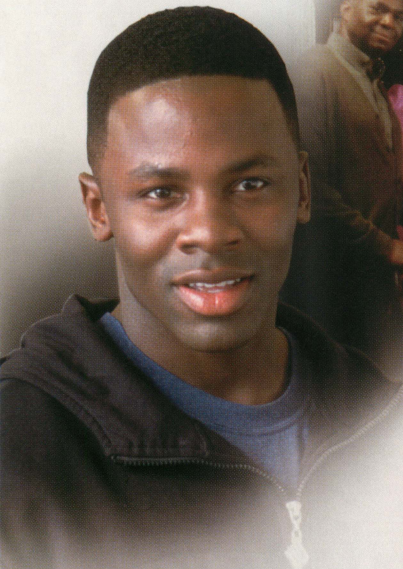
2度のアカデミー賞に輝く名優デンゼル・ワシントンの初監督作品は、実話からインスピレーションを受けた感動のドラマ。穏やかで凛とした語り口は、彼自身の温かな人間性が伝わってくるようだ。“監督”ワシントンの第一歩にふさわしい作品に仕上がっている。ロバート・レッドフォード、メル・ギブソンらに続き、新たな俳優出身のアカデミー賞監督が誕生するかもしれない。



誰にでも自分の全てを受け入れてくれる

温かい人たちが＝家族＝がきつという。

アメリカ海軍の水兵アントワン・フィッシャー(デレク・ルーク)は突発的な暴力癇があり、治療のため軍の精神科医ダヴェンポート(デンゼル・ワシントン)の診察を受けることになる。最初は固く心を閉ざすアントワンだったが、ダヴェンポートに導かれるように語り出した彼の物語は、あまりに恐ろしい子供時代の記憶だった。しかし、どんなに過酷な体験も彼の魂を傷つけることはできなかった。医師と初めて愛した女性シェリルに見守られながら、やがて顔も知らない本当の家族を探し始める。自分自身の傷を癒すために――。



デンゼル・ワシントンは3つ目のオスカーを監督賞で得ようとしている。  
―US ワイワイ誌―

デンゼルの監督デビューはアメリカの映画製作に、大いなる新しい才能をもたらした。  
―ポストワン・ラルド誌―

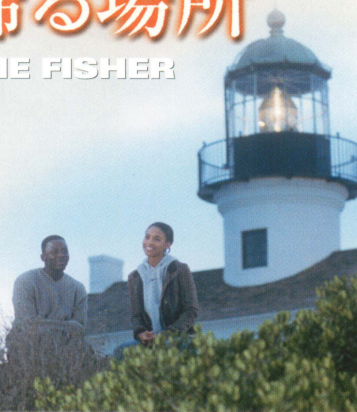
# アントワン・フィッシャー きみの帰る場所

ANTWONE FISHER

デンゼルが光を与えた真実の物語と無名の新人。

この「魂の勝利の物語」は、ソニー・ピクチャーズの警備員をしていたアントワン・フィッシャーの体験に基づいている。彼が書いた回顧録『Finding Fish: a memoir』はニューヨーク・タイムズのベストセラーに選ばれるほど話題になった。フィッシャーはこの映画の脚本も執筆している。そして、デンゼルは数多くのオファーの中から、初監督作品としてフィッシャーの脚本を選んだ。

そのフィッシャーを演じるのは、新人デレク・ルーク。彼もソニー・ピクチャーズの売店で働く無名の俳優だったが、デンゼルにより見出され、ナショナル・ボード・オブ・レビューのブレイクスルー賞など数々の賞を受賞している。



アントワン・フィッシャー著「アントワン・フィッシャー物語」：ソニー・マガジズ刊

監督・製作：デンゼル・ワシントン / 脚本・共同製作：アントワン・フィッシャー / 製作：トッド・ブラック、ランダ・ヘインズ  
撮影：フィリップ・ルースロ / 美術：ネルソン・コート / 編集：コンラッド・バフ / 音楽：マイケル・ダンナ  
アントワン・フィッシャー：デレク・ルーク / シェリル：ジョイ・プライアント / ダヴェンポート：デンゼル・ワシントン  
2002年度作品 / パナビジョン(1:2.35) / ドルビーSR・SRD / 120分 / 日本語字幕：松浦美奈